

# 令和7年度 県立旭高等学校 不祥事ゼロプログラム

旭高等学校は、不祥事の発生をゼロにすることを目的として、次のとおり不祥事ゼロプログラムを定める。

## 1 実施責任者

旭高等学校不祥事ゼロプログラムの実施責任者は校長として、副校長、教頭及び事務長がこれを補佐する。  
また、不祥事防止に係る担当総括教諭をはじめとする総括教諭は、校長及び副校長、教頭、事務長を補佐する。

## 2 課題、目標及び行動計画 ※【 】内は担当グループ等

### (1) 法令遵守意識の向上と服務規律の徹底【企画会議】

#### ① 目標

教育公務員として県民の信頼を損なわぬよう、モラル・マナー意識の向上を図る。

#### ② 行動計画

職員啓発資料等を活用した不祥事防止研修を行い、チェックシートによる自己の振り返りを行う。

### (2) 職場のハラスメントの防止【企画会議】

#### ① 目標

ハラスメント防止指針の理解を深め、ハラスメントのない職場環境を維持する。

#### ② 行動計画

職員啓発資料等を活用した不祥事防止研修を行い、チェックシートによる自己の振り返りを行う。

### (3) 生徒に対するわいせつ・セクハラ行為の防止【企画会議】

#### ① 目標

生徒との連絡ルールの徹底、生徒への相談体制の充実等によりわいせつ・セクハラ行為の根絶を図る。

#### ② 行動計画

職員啓発資料等を活用した不祥事防止研修を行い、チェックシートによる自己の振り返りを行う。

### (4) 体罰、不適切な指導の防止【企画会議】

#### ① 目標

体罰や不適切な指導を絶対に行わない意識を高め、未然に防止する。

#### ② 行動計画

職員啓発資料等を活用した不祥事防止研修を行い、チェックシートによる自己の振り返りを行う。

### (5) 入学者選抜、成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止【入学者選抜委員会】【教務】【キャリア支援】

#### ① 目標

入学者選抜、成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故を未然に防止する。

#### ② 行動計画

i) 業務実施前にマニュアルや点検方法等について全職員で確認し、共通理解を徹底する。

ii) 業務実施時には各段階の注意点を明示し、管理職による注意喚起を重ねる。

iii) 職員啓発資料等を活用した不祥事防止研修を行い、チェックシートによる自己の振り返りを行う。

### (6) 個人情報等の管理、情報セキュリティ対策【広報】【管理運営】

#### ① 目標

個人情報等の分類を明確にするとともに情報セキュリティ対策を周知し、個人情報の紛失・誤廃棄、誤配付・誤送信等の事故を未然に防ぐ。

#### ② 行動計画

個人情報等の重要情報の取扱要項及び重要個人情報等分類表を作成し全職員に周知するとともに、職員啓発資料等を活用した不祥事防止研修を行い、チェックシートによる自己の振り返りを行う。

### (7) 交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転防止、交通法規の遵守【生活指導】

#### ① 目標

交通法規を遵守するとともに、酒酔い・酒気帯び運転を絶対にしない職場の雰囲気を作る。

#### ② 行動計画

DVD視聴や研修を通じて、職員の交通安全に対する意識をさらに高める。

(8) 業務執行体制の確保等（情報共有、相互チェック体制、業務協力体制）【企画会議】

① 目標

業務執行にあたる意識、体制の適正確保を図り、事務処理等のミスを未然に防止する。

② 行動計画

i) 日常の業務執行にあたり、事務処理のミスを未然に防止するため、正しい文書作成を心がけるとともに、作成資料の相互チェックを徹底する。

ii) 職員一人ひとりが他の職員の業務の進捗状況に気を配り、職員相互の業務協力を努める。

(9) 財務事務等の適正執行【管理運営】

① 目標

県費・私費の適正な執行と会計処理に取り組み、事故を未然に防止する。

② 行動計画

年度初めに私費会計事務処理の内容及び様式等の確認を行うとともに、会計監査や財務事務調査等での指摘事項を共有し、年間を通じて「私費会計基準」に則った適切な会計事務が行われるようにする。

(10) 旭高等学校独自項目 部活動に係る事故防止【生徒支援】

① 目標

部活動中の事故を未然に防止するとともに、実際に起こったときの対応方法を習得する。

② 行動計画

部活動中の事故防止啓発DVDの視聴、職員による講義及び外部指導者による講習等により部活動時の事故を未然に防ぐ手立てを学ぶとともに、事故発生時の対応確認、救命救急法の訓練を行う。

### 3 検証・評価

(1) 中間評価

10月に実施状況を確認し、未実施や達成度が低かった場合には、11月中に補完措置を講ずる。

(2) 最終評価

2(1)～(9)②に規定する行動計画について、3月までに実施状況の達成度を確認するとともに、各目標達成についての自己評価を行う。その結果、新たな目標設定が必要な場合は、それを含め、令和8年度における不祥事ゼロプログラムを策定する。

### 4 実施結果の総括・報告

3(2)の最終検証を踏まえ、実施結果を取りまとめの上、ホームページに掲載する。